



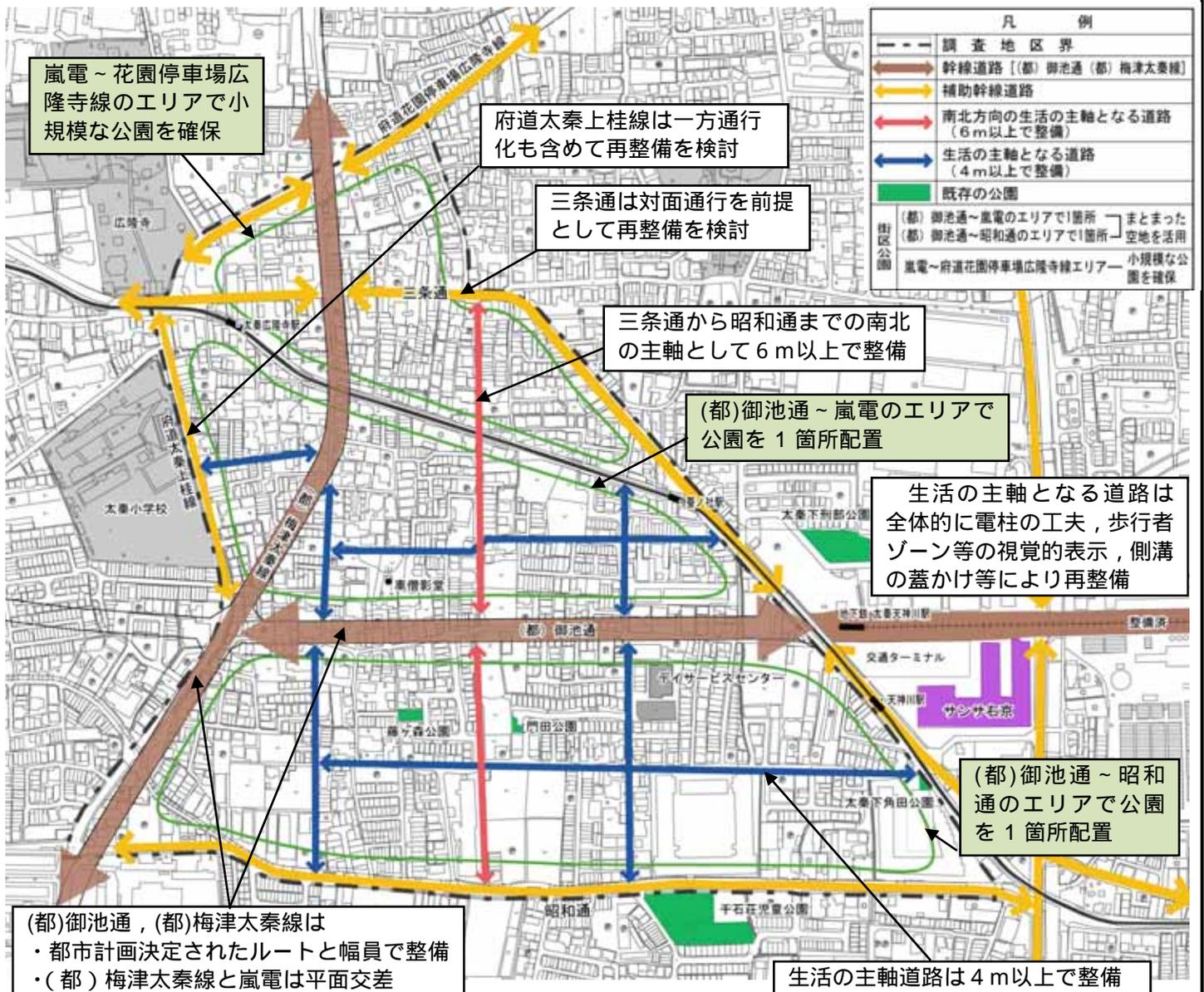
第6回太秦天神川駅西部地域まちづくり協議会を開催しました。

去る10月27日(火),午後7時より「第6回太秦天神川駅西部地域まちづくり協議会」が開催されました。当日は委員17名,傍聴者15名の方にお集まりいただきました。

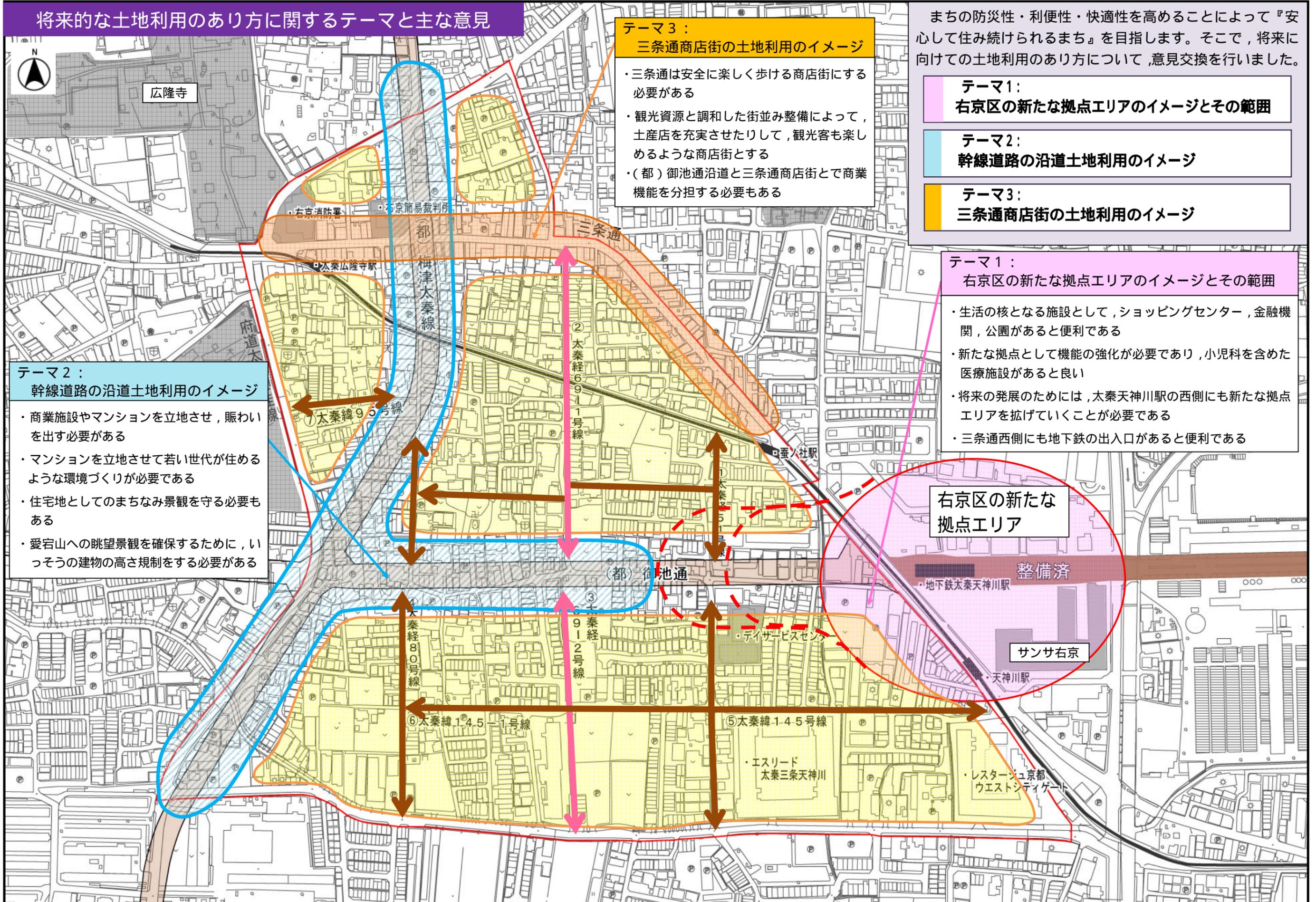
今回の協議会は,まちづくり基本構想(案)[幹線道路・生活道路・公園]のまとめや,将来に向けての土地利用のあり方について,A~Dの4つのグループに分かれていただき,意見を交換しました。その後,グループごとの意見をまとめ,代表の方が発表を行いました。

道路や公園の整備のあり方についての確認

今回の協議会では,第3回協議会から3回に亘って議論を行ってきた道路や公園の整備の方向性について,おおよそのまとめとして,まちづくり基本構想(素案)の確認を行いました。



将来的な土地利用のあり方に関するテーマと主な意見



テーマ3： 三條通商店街の土地利用のイメージ

- ・三條通は安全に楽しく歩ける商店街にする必要がある
- ・観光資源と調和した街並み整備によって、土産店を充実させたりして、観光客も楽しめるような商店街とする
- ・(都)御池通沿道と三條通商店街とで商業機能を分担する必要もある

まちの防災性・利便性・快適性を高めることによって『安心して住み続けられるまち』を目指します。そこで、将来に向けての土地利用のあり方について、意見交換を行いました。

テーマ1： 右京区の新拠点エリアのイメージとその範囲

テーマ2： 幹線道路の沿道土地利用のイメージ

テーマ3： 三條通商店街の土地利用のイメージ

テーマ2： 幹線道路の沿道土地利用のイメージ

- ・商業施設やマンションを立地させ、賑わいを出す必要がある
- ・マンションを立地させて若い世代が住めるような環境づくりが必要である
- ・住宅地としてのまちなみ景観を守る必要がある
- ・愛宕山への眺望景観を確保するために、いっそうの建物の高さ規制をする必要がある

テーマ1： 右京区の新拠点エリアのイメージとその範囲

- ・生活の核となる施設として、ショッピングセンター、金融機関、公園があると便利である
- ・新たな拠点として機能の強化が必要であり、小児科を含めた医療施設があると良い
- ・将来の発展のためには、太秦天神川駅の西側にも新たな拠点エリアを拡げていくことが必要である
- ・三條通西側にも地下鉄の出入口があると便利である

右京区の新拠点エリア

整備済
・地下鉄太秦天神川駅

サンサ右京
・天神川駅

将来的な土地利用のあり方についてのその他の意見

テーマ1：右京区の新たな拠点エリアのイメージとその範囲について

新たな拠点エリアには，民間施設の立地による賑わいの創出が必要である
ただし，地区の特性に配慮した土地利用に誘導していくことも必要である

昭和通から新たな拠点エリアへの歩行者動線を確保するために，エスリード（マンション）東側にある水路に蓋かけをして歩行者専用の道路にしてはどうか

テーマ2：幹線道路の沿道土地利用のイメージについて

交通量の度合いによって土地利用も変化していくと考えられる

（都）御池通，（都）梅津太秦線，三条通でループ型の商業ゾーンを形成してはどうか

天神川通の街路樹景観（桜並木）を延長させて，歩いて楽しい道路にしてはどうか

テーマ3：三条通商店街の土地利用のイメージについて

安心して歩ける商店街として再生するには，一方通行化による歩道の整備を検討してはどうか
また，道幅が特に狭い区間は，拡幅等を検討してはどうか



次回（第7回）協議会日程は以下のように決まりました。

日時：11月27日（金）19：00～21：00

場所：右京区役所 5階 大会議室1

内容：基本構想の実現方策について（整備手法，優先順位等）

協議会は，どなたでも御自由に傍聴していただけます。

（お願い）座席や配布資料の準備が必要なため，できるだけ事前に御来場される方の人数を電話，FAX等で御連絡いただきますようお願い致します。

わからないことは，
お気軽にお問い合わせ
ください。



お問い合わせは，下記までお願い致します。

京都市 建設局 都市整備部 市街地整備課（担当 榮（さかえ），長谷川）

電話 075-213-3537 F A X 075-213-3586

e-mail sgaichiseibi@city.kyoto.jp

ホームページ http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/soshiki/10-5-1-0-0_10.html